

No.	質問2 あなたの年齢層を教えてください。	質問7 10年後、どのようなまちにしたいですか。そのために、あなたができることは何ですか。	質問8 子どもたちのために、自分ならこんなことができる、というご意見をお聞かせください。
1	10代～20代(学生以外)	(回答なし)	留学生を含む東女生は小中高等学校で多文化共生ワークショップすることが可能であればぜひ機会をください。特に留学生の一員として、ぜひ小中高等学校の学生と国際視点から交流し、お互いに勉強したいと想っています。
2	10代～20代(学生以外)	次世代が夢や希望を持って生きていける街、バックグラウンドや環境に拘らず、全ての人が挑戦を出来る街(出来ること)お互いの違いを理解し合い、尊重することができるようになるきっかけを提供し、全ての人の挑戦を後押しする優しい街づくりを目指すこと。	違いへの理解、知識獲得等のきっかけとなるイベントの企画など
3	10代～20代(学生以外)	ひとり親家庭が孤立しない、貧困に陥らない杉並区。全国的に、虐待死のない社会になってほしい。そのために、子ども宅食事業への寄附を行っている。	将来的に養育里親になることを検討している。
4	30代～40代	争いの無い町。そのために相互理解のための「場」を作るor守る	子どもに「頑張れ頑張れ」と言う前に、自分が頑張っている姿を見せること。
5	30代～40代	10年後子どもたちが、このまちに訪れた時やそのまま暮らしている中で、10年前の日々の出来事を幸せだったと感じそして、その10年後も幸せを実感出来るまちであって欲しい。そのために、今この時を子どもたちがそして私たち大人が「幸せ」を感じていることが、大事だと思っています。 そのために出来ること。 今不登校の親の会を主催しています。子どもたちにとって、今の人生そのものと言うくらいをしめている学校生活。その日々が、辛く悲しい事になっている子どもや家族は区内にもたくさんいます。そんな子ども達や周りの大人に「大丈夫今休んだっていくらでもやり直せるとにかく今はゆっくりやすんで力をためよう！」と伝えつつ、小さな声ですが当事者達の声を行政にも届くようにと活動しています。	今の子どもたちは本当に忙しい。やらなければならないことが溢れている。みんなと同じでなくてもいいんだよ 自分はどうしたい？ 自分はどう思う？ 疲れたら一休み その事を我が子が始め周りの子ども達にも日々問いかけるようにしています。そして自分自身も無理しないマイペースで生きることを心がけそんな姿をみせています。 偉い大人達がたくさん考えて今の教育システムを動かしている。それは子ども達の未来や国の未来を考えてくれているのは分かっていますが、【みんなと同じことをみんなと同じように】【ここまで出来ない】と否定される評価】【基準に満たないことへの否定される評価】【個々の興味を無視した進め方】【一人一人を大切にと言いつつみんな同じであれという教育】これではそれぞれが持っている可能性をぶっ潰していることにそろそろ気がついて欲しい。 杉並区独自でと言うのは難しいこともあると思うが広島や熊本でも子どもたちがイキイキとしているまちは実在しています。良い所は是非お手本にして欲しい。子どもたちがイキイキしていれば、そのまちの未来は明るいに決まっている！！
6	30代～40代	安心安全に暮らせる町。また近所の交流が少なくなっているなか、近所の交流がもっと自然にできるような、環境であってほしいと思います。まだ子供が小さいので子供の関係で親同士の交流はできますが、子供が巣立った時、このような近所の交流があまりない環境だと孤立してしまう年配の方が増えてしまうのではないかと心配になります。いい意味で他人にも興味が持てる世の中、町であってほしいなと思います。	二年間P協活動に携わらせていただき有意義な時間を過ごすことができました。子供たちの為にこんなにも思い真剣に考えてPTA活動をしている保護者がいるのだと知り刺激となりました。働いている人が多くなってきている今PTA活動なんてする時間がないという方が増えてきています。もっとPTA活動の意義を沢山の保護者に知ってもらうことが必要だなと思います。また休校になってからこそ、人との関わりの大切さを改めて感じました。家族としてゆっくり子どもと向き合う時間も新鮮ではありましたが、沢山の人と関わる大切さを知り、子供のうちから沢山の人と関わり自分とは違う考えの人もいることを知り、その考えも受け入れ理解することの大切さを教えていきたいなと思います。日々時間に追われ自分の小学校の頃と比べると毎日忙しそうにしている子供たちの姿は少し寂しく感じる時もありますが、心の余裕を持たせてあげることを大人が作ってあげることが必要なかなとも感じています。その為に子供の話をゆっくり聞く時間を作ってあげていいと思います。
7	30代～40代	プライバシーは守られつつも、地域の住民同士の適度な関わり合いがあれば、災害時などに安心だと思えます。 保育園の親同士のちょっとした会話や、マンションでの挨拶などは心がけていますが、未だに同じマンション内で連絡先を知っている家は1件だけです。	(回答なし)
8	30代～40代	教育が行き届いた街 教員の数をもっと増やしてほしい	先生の補佐ができればやりたい。

No.	質問2 あなたの年齢層を教えてください。	質問7 10年後、どのようなまちにしたいですか。そのために、あなたができることは何ですか。	質問8 子どもたちのために、自分ならこんなことができる、というご意見をお聞かせください。
9	30代～40代	(回答なし)	今の学校のしくみを変えます。 ・同じ教室に詰め込んで全員同じことをやる授業をやめる。それぞれ得意な科目をドンドン先に進ませる。 ・9割がインプットの座学ばかりの授業をやめる。暗記なんてこれからはAIがやることだから必要ない。 ・もっと社会に出てすぐ役立ちそうな授業をする。税金や保険、物流や社会の仕組みなど。 先日、子供の授業参観を見ながら色々思うところがありました。先生方は本当に一生懸命やって下さっていますが、戦前から変わらない詰め込み型の授業スタイル、みんなと同じ事をできない子はNGとされる軍隊のような雰囲気これでは子供の個性が死ぬな…と思いつつ眺めていた次第です。今までずっとこうやって来たんだから簡単には変えられないよねという大人の惰性が子供達を苦しめているように感じました。
10	30代～40代	安全で温かみがあり、子供の笑い声が外で聞こえる街。 子育てをしていて思うのは、屋外で子供の行動を制限するようになってきている。登校時は挨拶が禁止、公園でボールの使用禁止、小学校の校庭でさえ、ボールをついていると、場所を制限される。苦情を言う大人に対しての配慮も勿論必要だが、高齢者を優先していたら、少子化の改善にはならないと思う。	知っている子供達には、街で見かけると声をかけている。知り合いに囲まれて、子供達のこと気にかけているんだよという環境でのびのび育てほしい。
11	30代～40代	安全で教育水準が高いまちにしたい。 そのためには今以上に杉並区、ひいては久我山を愛する人が増えて欲しい。 愛こそが、地域の安全(防犯)意識向上や学校の教育水準を上げることに一番大切で必要なことだと思う。 地域を愛し、子供が通学する小学校・中学校に愛着を持つ人間が増えれば、PTA活動や学校への協力意識が芽生え当事者意識が生まれる。 学校にとっても力強い存在になるだろう。 更には子供の安全を確保し、守りたいとボランティア活動にも熱が入る人が増えれば安全面でも心強いと思う。 私は自らのPTA活動を通してもっと久我山が素晴らしいまちだということを広めていきたい。	まずは自分の子供を一生懸命育てること。 私は顔の見えない誰かのために何かをする前に、目の前の自分の子供をしっかり育てたいです。 そうしてきちんと育てられた私の子供はクラスの友達にとって良い影響を与えることが出来るでしょう。 規模は小さいかもしれませんがそれが一番確実で、唯一私に出来ることです。
12	30代～40代	親が働きやすい環境、つまり 家庭で過ごす時間が長くとれる ことのできる街	仕事をできるだけ早く終えて定時で帰り、早くお迎えに行き、子どもの就寝まで長く一緒に時間を過ごすこと やれ土曜授業だ、行事だ、よかれと思って沢山の宿題だなどという子どもへの負担を減らしてくれる学校体制へ賛成することはできません 量より質へ転換してください
13	30代～40代	(回答なし)	(回答なし)
14	30代～40代	近所の方々が顔見知りになるまち。 よく見かける人には挨拶や少し話をする。 公園など公共の場で人と会う機会を作る。	見守り。子どもを見ている不審な人がいたら、その不審者が子どもに近づかないように見守っている人がいることをアピールする。
15	30代～40代	安心して自分の気持ちを話すことができ、チャレンジすることができるまち。 そのために、私はその場にいる人と人と結び、輪を作ることができます。	その人のよいところを見つけることができます。 「私には何かできることがある」と子どもが思ってもらえるように、たくさん話を聞きます。
16	30代～40代	アンケートに対して敢えて苦言を申し上げます。 教育の未来を語り、創ることに参加して欲しいと言うのであれば、まずはこれまで行ってきた教育ビジョン(今回であれば2012ビジョン)の達成度合いや問題点について言及した上で(おそらく100%達成はないでしょう)、それらの解決にどのように取り組むのかということをもっと明らかにすべきです。 それらをせずして次の目標などを策定しても、結局前の課題が解決していないわけですから、例えれば、基礎が固まっていない状態で家を建て始めるのと何ら変わりません。 教育こそプラン・ドゥー・シーが徹底されるべきであるのに、教育現場では課題の積み残しが放置されたままであると指摘されるのはそういう基本的なことができているからです。 子供や親に意見を求めるのであれば、上記についてよく検討してからにしてください。 質問7や8のような曖昧模糊としたものは、「父兄の意見も幅広く聞いた上でビジョンを策定した」という教育委員会のアリバイ作りに他なりません。 なお、もし父兄からの意見を公開する予定があるのであれば、このような苦言も掲載すべきであると考えます。	同左

No.	質問2 あなたの年齢層を教えてください。	質問7 10年後、どのようなまちにしたいですか。そのために、あなたができることは何ですか。	質問8 子どもたちのために、自分ならこんなことができる、というご意見をお聞かせください。
17	30代～40代	子ども達がたくさん遊べるまち。	当番制で見守り。 今の子ども達は私が子どもの頃のように体を使った遊びが制限されてて勿体無いから。
18	30代～40代	ITを進めてほしい	ネット環境強化
19	30代～40代	皆が笑顔で過ごせる町。 相手を思いやることです。譲り合う気持ちを大切にしたいです。そして、何かあれば、声かけできる温かな町にしたいです。 今、杉一小学校で、工事道路建設が予定されています。とても心配です。子供にとって学校は絶対に安心安全が確保された空間であって欲しいです。 杉一小は先生方をはじめ、地域や関係者多くが子供のために尽力してくれています。 ぜひ、改めて、安心安全を考えていただきたいです。	なんでもやります。 子供たちは、宝です。
20	30代～40代	自分の子供以外にも声がけすること	コミュニケーション能力を高めるための活動、何か職業体験があれば協力したい
21	30代～40代	(回答なし)	(回答なし)
22	30代～40代	(回答なし)	(回答なし)
23	30代～40代	バリアフリーで、電信柱が地中化されて、道路の段差がなく、公園(防災兼ねた)や緑や植物があり、歩行者や自転車、車が安心して行き交える町。例えば、公園の維持等で人手が必要ならば、ボランティアで参加していけたらと思います。住み続けていけるよう、働き税金を納め努力すること。	防犯対策としての見守っていくこと。
24	30代～40代	障害を持った人を分けるのではなく理解をして一緒に自然に暮らせるようになってほしいです。	(回答なし)
25	30代～40代	事故と犯罪が無い安全な街。	事故や安全のための指導をうるさいぐらいに教えておく。
26	30代～40代	皆がルールを守るまち 歩行禁煙者等ルール違反者等への注意	(回答なし)
27	30代～40代	古くから住んでる人も新しく越してくる人も、仲良く共存できるまち。 おじいさんおばあさんも、子育て世代も、引退した世代も、子供達も、安心して生きていられるまち。 虐待ゼロ。ペットショップゼロ。	今は世代的にやってもらっていることの方が多いのですが、子育てが落ち着いたら、子育て世代に手を差し伸べられるおじいさんおばあさんになれたらと思います。
28	30代～40代	子どもの意見が当たり前で聞かれて、子どもに出番と出会いがあり、ともに作るまち	子どもに出会いと出番がある場の運営、課題は場所の確保。
29	30代～40代	安全で犯罪の無い町づくり。	子供の安全を守るために日々のパトロール。
30	30代～40代	安全まちで、子供達が伸びやかに自由に暮らせるまちにしたい。 みんなが協力しあい子供達やお年寄りまで、守っていく事する	子供達が不安にならない様に積極的に話し掛けて声を聞いてあげる
31	30代～40代	みんなが便利に最低限の楽しみや文化に教育にふれられる町。	小学生、中学生、高校生が楽しめるように、つどう場所をユウキ並のようなものをもっと欲しい。 体育館も大人ばかり使う。 つくれば、出て行っても子育てのときやにいずれ街に戻って来ると思う。 もっと家庭で子どもを育てられるようにして欲しいな。働いてる親子ばかり優遇されるような制度はやめてほしい。
32	30代～40代	学校が広く地域に開かれ、学校、親、地域連携で子供を見守り、子供の可能性が最大限生かされている街。 子供のキャリア教育や進路相談に関わる。	子供のキャリア教育や進路相談の仕組みづくりなど取り組みたい。 学校のDX推進のヘルプなど
33	30代～40代	安全な街。 区民の負担が少ない街。	(回答なし)
34	30代～40代	犯罪者、不審者0 子供達だけでなく、全体が安全に過ごせるまちにしたいと思っています。	地域パトロール、ワンワンパトロールなど、地域みなさんが協力して、不審者が出づらいついにしたいです。
35	30代～40代	近隣の方々と顔を知っている関係で、地域の行事を楽しめるまち。 現在は地域会費の回収が毎年行われているが、何に利用されているか知らず残念。地域を知る商店の方と会話して共有を得たい。 また、子供を通して学校活動に協力したい。 ◎要望として、不審者情報を街中の掲示板に張り出してほしい。 公立小学校に子供がいれば情報が入るが、それ以外になると分からない。不審者の抑止にもなる。不審者本人が当事者と分かってない場合もあり理解させられる。お願いします！	(回答なし)

No.	質問2 あなたの年齢層を教えてください。	質問7 10年後、どのようなまちにしたいですか。そのために、あなたができることは何ですか。	質問8 子どもたちのために、自分ならこんなことができる、というご意見をお聞かせください。
36	30代～40代	都心だけど緑豊かな街並みで、公園が多いまちにしたいです。	大切な資源を守るために環境保護や、リサイクルの大切さを伝えることができる。
37	30代～40代	世代や性別、国籍などの異なる人々が地域への帰属意識を感じられ、能動的に地域への還元が循環するような暖かいコミュニティ。 挨拶など日々できる周辺住民間のコミュニケーションの実施と、子どもたちへのダイバーシティ意識の植ええ	海外経験(アメリカへの交換留学、大学院経験、海外バックパック旅行等)に基づく日本との違いや発見の共有
38	30代～40代	誰もが笑顔で生活を送れ、顔見知りであろうがなかりすがすれ違いざまには軽く会釈できるような住民でいっぱいになってたらうれしい まず家庭内はもちろん、近所の方と顔を合わせる機会があればにっこり笑顔でごあいさつ 防犯でも暮らしやすさでも、1番は気持ちの良いあいさつ笑顔からだと思う	下校時の見守り 未就園児のわが子と散歩しながら、下校中のランドセルっ子とも会話しながら歩くことがある みずしらずで、また後日会うかもわからない子どもがよちよちのわが子と話してくれることも嬉しかったりする
39	30代～40代	多様な生き方を認め合えて安心して暮らせるような、差別やいじめの無いまち。 現在、和田堀プレーパークのボランティアをやっています。無料で親子で1日いられる『居場所』づくりを心がけています。 差別やいじめが無くなるためには、それぞれが活躍できる居場所が必要だと思います。	質問7と重複しますが、和田堀プレーパークの運営ボランティアをし、子どもたちの屋外遊びの経験の機会を設けています。 (プレーパーク…公園の使用許可をもらい焚き火や木工やロープワークを行い、子どもたちの『冒険遊び』を促す活動です。 杉並区の後援もいただいている活動です。) 子ども達に遊びを通じた学びを与えることが一番の目的ですが、ひいては『孤育て』に陥ってしまっている保護者へのフォローも可能だと思っています。
40	30代～40代	子ども達が心身ともに豊かに成長できるまちにしていきたい。様々な経験、自然との触れ合い、探究心を追及できる場所作りや、屋外・屋内と自由に体を動かせる場所の充実が必要と思います。また、安心して子供達が過ごせるまちの安全が守られてこそ、健やかな成長につながると思います。私自身ができるのは、今は住民の1人として、子ども達の見守りや、学校や保育施設、区の拠点などで子ども達のための活動への参加など。	子どものためのチャリティバザーや子ども用品の交換会への参加。海外の子どもの交流活動への協力やホストファミリーとしての活動。
41	30代～40代	子どもや子育て家庭を孤立させない街にしたいです。そのためには、地域で子どもたちや子育て中の親をサポートしていく仕組みが必要だと考えています。 具体的な案としては、子どもと地域の大人が交流できる場所や仕組みをつくるということです。 例えば、区内すべての小学校の一室を利用して、放課後に子どもと地域の大人が交流できる場所を設けます。そして、地域の大人の特技(将棋、編み物、絵画、刺繍、ダンス、歌、ギター等々)を活かして子どもたちに教えてもらいます。 子どもは親以外の大人に関わりながら、社会を学んでいきます。親に言えない悩み事をポロリと話すこともあるでしょう。場合によっては学校や家庭、行政と連携をとることで、家庭の問題を解決できることもあるでしょう。子どもが地域の大人と関わるということは、多様な価値観を知る機会にもなりますし、地域に自分のことを知っている大人が増えれば、防犯や非行を防ぐ手立てにもなると思います。また、子どもだけでなく、経験豊かなシニア層の居場所にもなります。子どももシニアの大人も地域で「孤立させないこと」を目指すことが、安心安全で住みやすく、一人ひとりが尊重される街になると思っています。 そのために私ができることは、地域の大人の一人として、「感情理解教育」を子どもたちに教えることができるということです。 私は、広報すぎなみの10月15日版のすぎなみピットにもご紹介いただきましたが、怒りの感情と上手に付き合えるようになるためのアンガーマネジメントの活動をしております。 時代が変わっても、人が人の中で生きていく以上、感情をなくすことはできません。人との関わりの中でコントロールできないほどの感情で苦しむ子どももいます。そんな子どもたちに寄り添い、感情と上手に付き合えるようになる感情理解教育を提供させていただければと望んでいます。ご検討頂きますと幸いです。	具体的なアイデア ・アンガーマネジメントの子供向けのワークブックを用いて、週1や月1ペースで感情について楽しく学んでいく ・子供用のカードゲームを活用して、友達と遊びながら、怒りの理解を深めたり、自分と他者との違いを知ったり、怒りの扱い方を楽しみながら学んでいく ・怒らない体操など、体を動かしながら怒りについて学ぶ
42	30代～40代	○安全して過ごせるまち 顔見知りや、多くのお互いを気づかえる関係が多いといいな。とおもいます。 少しズレるかもしれませんが、いま小学校の門に立ち子ども達の安全を見守ってくれている警備員の方達の配置を廃止にする話がでているみたいですが、人が立っていることがなよりの抑止力になるとおもいます。現状維持を強く希望します。	地域の人が顔見知りになれるきっかけになれる場を開くこと。
43	30代～40代	あたたかく思いやりのあるまち	学校支援本部やcsの一員として、子どもたち目線で必要なことを手助けする。地域の子どもたちを、自分の子と同様に接する。

No.	質問2 あなたの年齢層を教えてください。	質問7 10年後、どのようなまちにしたいですか。そのために、あなたができることは何ですか。	質問8 子どもたちのために、自分ならこんなことができる、というご意見をお聞かせください。
44	30代～40代	前例の良い部分は残しつつ、新たな意見を積極的に取り入れ、古いものに縛られる環境からは脱却して欲しい。 その為に、意見を始めとする声を上げるようにする。	こどもたちの意見があるならば、まず聞く。誰もが自分らしくいられて、守られ、意見や考えを発信して良いんだという、子どもの権利の保障の機会を積極的に設けたいと思う。
45	30代～40代 50代～60代 (団体)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域行事が盛んで、どの年代もすすんで参加できることが理想的。 ・道路が整備されて、渋滞のないゆとりがあり、安全な街並みになってほしい。 そのために、個人でできることは、路上駐車などの迷惑駐車をなくすこと。あとは、行政にお願いするしかない。 <ul style="list-style-type: none"> ・善福寺館公園、井草八幡宮等の緑豊かな環境が維持保全され、教育、医療、福祉が充実した暮らしやすいまちであってほしいと思います。そのために私個人ができることは、具体的には、残念ながら見当たりません。 子どもの頃と比べても、気候変動は明らかで、コロナ禍で経済も苦しい状況ですが、昔お世話になった地域の先輩方のお姿は記憶に残っており、そのお気持ちに少しでも恩返しできればと思い、微力ですが少しお手伝いをさせてもらっています。 (地域に対する思いや気持ちを繋いでいくことができればと…) <ul style="list-style-type: none"> ・全世代が適度な関わりを持ち、協力し続けるまち。できることはコーディネート、全世代がかかわることができる場を設けること、調整することでしょうか。 ・「環境は人を創る」を常に頭の片隅において生活しています。0歳から高齢者まで心安らかに豊かに暮らしていける地域であることを望みます。10年後も以下のようなまちに… ○豊かな自然環境を守りたいです。 ○温かみのある近所付き合いを大切にしたいです。 ○文化的・教育的・芸術的にも充実した町が望ましいです。 ○古くからお住まいの方と新たにこの地に住まれた方との自然な融合を大切にしたいです。 そのうえでできることは何よりも自分自身が健康でなければ活動できませんので自己管理を心がけたいです。そして、地域の伝統行事や地域活動には楽しみながら参加していきたいです。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の住んでいる町が、楽しいな、好きだな、ずっと住んでいたいな、と思えるようになって欲しい。そのために何ができるのか考えている。 ・TVなどのマスメディアから流れる医療の情報は、医療者目線なので子供には理解しにくい。私は、看護師であった経験と知識を生かし、また2児の母であるため、子供にわかるように、病気の知識や日常生活における感染予防を教えることができる。 ・現在は、事務的なことしかできず、すみません。 ・子どもの成長を願う全世代の方に協力していただけるよう働きかけることです。 子どもたちには親だけでなく地域の多くの人に囲まれている安心感をもって成長をしてほしいと思います。 これまでは、CS協議会や支援本部として、児童にプラスになる企画や保護者・地域の方々のお力を得られるボランティア企画に力を注いできました。 これからは、次なる世代に支援本部活動をバトンタッチし今度は、私自身が応募する立場になり、出来る範囲のお手伝いをしていきたいと思っています。小さな小さなことで力になりたいです。

No.	質問2 あなたの年齢層を教えてください。	質問7 10年後、どのようなまちにしたいですか。そのために、あなたができることは何ですか。	質問8 子どもたちのために、自分ならこんなことができる、というご意見をお聞かせください。
46	50代～60代(団体)	<p>・教育シンポジウムで牧野先生のお話の中に「話せばわかってくれると思える社会」という言葉がありました。また「言葉がちいさい社会の基礎となり生きる力を生み出す」「対話することで自分が生まれる」と続きそのような社会や町が理想だと思います。</p> <p>・町会や地域の諸団体など地域の中には、学びを支えてくれるたくさんの「小さな社会」があるはずです。</p> <p>多様な学び、多様な子どもたちを支えるために、地域の大人として数々の「小さな社会」を掘り起こし、連携し、活動を継続するための協力をしてみたい。</p> <p>・地域を意識して生活している人は少なく、子どもが学校を卒業してしまえば個々の生活に戻ってしまいます。子どもや親が、学校生活をとおして関わった地域との関係を卒業しても活かせる町であってほしい。</p> <p>・学校に多様な人が集まり対話のできる魅力的な場所となり、その中で子どもたちが育てば、継続可能なまちになるのでは。</p> <p>・地域にある緑豊かな環境や、伝統文化を維持継承しつつ、子どもの笑顔があふれる町⇒子供たちが「この町が好き」と言ってくれる地域</p> <p>・自分の子どもたちにアメリカの幼稚園、小学校を経験させて感じたことは、授業で子供の発言の場が多かったことです。とにかく何でもいいから、どんどん発言することを小さい頃から身につけさせているように感じました。コミュニティスクールの特色を生かして、対話できる子供達を育てる学校であり地域づくりを考えたい。</p> <p>・明日が来るのが待ち遠しいまち</p> <p>・未来に希望を持てるまち</p> <p>・人の価値を認め合えるまち</p> <p>・住むひとの多様な生き方がまちの文化を生み出すまち</p> <p>・自然のなかで自分らしく暮らせるまち</p> <p>・身の周りには、曖昧であったり、象徴であったり…。SDGsのような、一見わかりにくい(英語を含む)ものが溢れている。一人じゃなくて、時間をかけて、みんなで少しずつ紐解き理解すれば、きっと未来の形が見えてくるはず。⇒他の人を尊重しながら共に経験し、共に学ぶ町</p> <p>・地域ぐるみで子どもたちの成長を願い、一般の住民にもそのような気運が広がる町。(どうPRするか。)</p> <p>子どもと地域がともに活動することで、挨拶や感謝の言葉、他者を敬う気持ちなど豊かな人間性を育む。</p> <p>・杉並には、地域ごとに文化や歴史がある。子どもたちには、それらを学び理解することで、地域の一員として意識を持ってこれれば有難いと思う。また、杉並は文化性の高いこともあって、子どもたちには、文化の香りがする環境の中で育ててほしい。音楽や芸術をはじめ、文学、科学など創造力と探求心を育む文化性の高い町を地域と子どもとで作れたらよい。</p>	<p>・子どもたちの声を聞くことは大切であると思う。地域との関わりを深めることや、大人と子どもが対話することで見えてくることも多いので、その様な機会を作っていく。</p> <p>・地域の大人として、子どもたちの悩みや問題など、子どもたちの相談相手と役立てると良い。</p> <p>・卒業生たちに地域の一人として学校や地域に協力してもらおう。(桃四小のサーモン計画)</p> <p>子どもたちにとって先輩の存在は大きい。年齢に近いこともあって、自分たちの近未来を投影しやすい。</p> <p>・CS委員としては「あしたへの希望がある学校づくり」を応援することで、どんなスタイルでも「かかわり」を持つことです。委員を退いても「かかわり」はテーマです。かかわることで、自分も支えていただいている側面もたくさんあります。</p> <p>・キーワードは、「寄り添う」「誰も取り残さない」「想いをつなぐ」</p> <p>・「教育」と言うより、「学び」の面で、地域は子どもたちの成長を幅広く応援できる。</p> <p>既成の型にはまらず、共に学び、共にワクワクする環境をつくりたい。</p> <p>・誰にでも得手不得手はあるもので、苦手意識が子供の可能性を狭めてはいけないと思います。誰もが得意なことや興味のあることを見つけられる多様な環境をつくってあげたい。</p> <p>・自己肯定感の低い子どもたちが多い。成績や友達とのやり取りなど原因は色々あると思う。これに対して、様々な子どもたちが自信を持って学べる多様な環境づくりを行うことで、一人ひとりの個性を尊重して生き生き、伸び伸びとした若い力を発揮できる場面を増やしたい。</p>
47	50代～60代	<p>互助社会を目指したいです。助けて欲しいと願っている人と、助けを求められれば助けてもいい、と考えている人との繋がりや、イベント、システム作りを手掛けていきたいです。世代間の交流や、定年後のシニア世代のサードプレイス作りにも取り組んでいきたいと思っています。</p>	<p>zoomも併用した地域交流イベント、電子工作教室、社会における共通善の実現に向けたプロデューサー育成活動、ITリテラシー講座</p>
48	50代～60代	<p>人を大切に、人の生活を大切に作る街であってほしい</p> <p>●選挙権を正しく行使する</p> <p>●ボランティアを通じて子どもの人権を守る</p>	<p>子どもの発想を活かしながら、遊びや学習を支援する</p> <p>子ども同士の語り場の支援</p> <p>図書活動の充実への支援</p>
49	50代～60代	<p>安心して街路を歩き、老若男女問わず、笑顔で言葉を交わせるまち。そのためには、とかく忘れがちである安全と安心は自ら創り出す役割を持ち実践することを、PTAあるいは町会等での活動を通じて、子どもたちやその親と一緒に学べる場を作っていきたい。</p>	<p>子どもたちというよりはその親たちへ、例えば自転車の安全な運転のために必要な「ルール」を教えること...実際には反発され、又は同意を得にくい作業ではあるが、何か率先してできることはないか、そのような企画づくりを行うこと。(同じような考えの人たちとグループで協働したい)</p>
50	50代～60代	<p>商店街が賑やかで、子育てに協力的な、優しい街になってほしいです。そのために商店街について口コミで情報を拡散できるようにしています。</p>	<p>絵の書き方</p> <p>お裁縫</p> <p>等の助言</p>
51	50代～60代	<p>地域に暮らす人が安心して住み続けられるまち。特に未来を担う子どもたちは最優先。PTA活動を通じて地域の発展に取り組めるものと考えている。</p> <p>この観点から杉並第一小の工事用仮設道路建設には多に疑問あります。</p>	<p>上と同様。学校行事等への地域・保護者の参画を促すことで開かれた学校、また地域、保護者と一体となった学校になるものと期待。</p>

No.	質問2 あなたの年齢層を教えてください。	質問7 10年後、どのようなまちにしたいですか。そのために、あなたができることは何ですか。	質問8 子どもたちのために、自分ならこんなことができる、というご意見をお聞かせください。
52	50代～60代	地域の人々が顔見知りで、あいさつをしたり、気軽に会話ができたり、いざというときは助け合ったり等が当たり前出来る町にしたいです。	地域のパトロール。笑顔であいさつ。ピーポ君110の家。等
53	50代～60代	子どもも大人も互いに尊重して生き生きと暮らせるまちにしたいと思います。未来を担う子どもたちのために信頼してもらえる大人としてできることをしていきたい。	学校の先生方の負担を減らす活動、印刷や丸付けやミシンの補助やいろいろ。
54	50代～60代	自然が保たれ安全なまち	まちの清掃活動やパトロール活動があれば参加出来ると思います。
55	50代～60代	駅周辺の大規模な再開発。 子ども～若年層～子育て世代にとって魅力的に映る街作り。 その周辺で若年層を支援出来る仕事に就きたい。	(回答なし)
56	50代～60代	災害に強い町。危険な箇所を役所にお伝えする。	登下校時の見守り。
57	50代～60代	地域行事が盛んで、あらゆる年代が参加できることが理想的。	自分の住んでいる町のことを、楽しいな、好きだな、ずっとここにいたいな、と思ってもらいたい。 そのために何が 필요한のか、何をしたらいいか考えたい。
58	50代～60代	(回答なし)	区立中学校のブラック部活撲滅。部活の顧問を押し付けられると、自分の実子の入学式も運動会も卒業式も一度も出席できなかった。
59	回答なし(大人)	10年後はますます少子高齢化が進んでいくと思います。生まれも育ちも杉並区の方がいる一方、縁がありこの地に住居をかまえている方々も沢山います。さまざまな方がいる中で地域での助け合い、地域の目でお年青や子どもたちに寄り添っていくことが大切だと思います。挨拶をしたり、声をかけたり、地域のつながりが密なまちによりなると良いなと思います。私自身も地方出身のため身内などは杉並にいませんが、地域で行われる催し物などには積極的に参加し、交流の場を横に大きく広げていけたらと思います。	現在は小学校のPTA役員として子どもたちのためになることを、と日々活動しています。オンライン化が進む一方、学校でしか経験できないこともあると思います。学校生活での経験が将来の一步につながる事もありますし、人との出逢いがその後の子どもたちに大きな影響を与える事もあります。その様な場を1つでも多く提供したり、サポートしたりできると子どもたちにとっての貴重な財産が増えるのではないかと考えています。そのお手伝いをしていけたらと思っています。
60	回答なし(大人)	安心安全なまちにしたい。争いのない平和。地域活動(PTA)に参加、見守る	学校や地域とのコミュニケーションを取り、活動に参加する。地域とのつながりを作ること。
61	回答なし(大人)	住民1人1人がみんなを思い合って助け合える街。政策が充実していてみんなが羨む住みたいと思える街。まず、近所、知人、友人、その他縁と絆を大事にして役立てるように、アンテナをはり、しっかり行動に移すこと。	子どもたちがこんな大人になりたいと思えるような大人であること。多様性を受け入れていかなる事へも前向きに道を開ける志を持つ事。子どもたちの健全な成長を願い行動し続ける事。
62	回答なし(大人)	人と人とが関わり合うまち(直接でなくても)。そのために、子どもたちと地域をつなぐ。	自分の力を更新し続けること。 10年後、学校を人間力を学ぶ場にした。
63	回答なし(大人)	近所の人がみんな挨拶できるまち。そのために、交通指導員さんなど毎日会う方に挨拶をする。	授業でゲストティーチャーを積極的に呼んだり、校外の方と交流ができる機会を作ること。 10年後、学校を子どもたちの異学年でも交流があり、挨拶できる。ゲストティーチャーの方に入っていただけ、いろいろな人と関わりながら学習が進めていけるようにしたい。
64	回答なし(大人)	誰もが生きやすい幸せなまち。区が主導する、任せきりでないようなまち。そのために、子どもたちに、自分たちのまちという意識を持たせるような教育をする。	一人ひとりの思いをくみとり、見取る。地道にコツコツ教育すること、学ばせること。 10年後、誰もが楽しいと思える学校。苦手なこと(学習・コミュニケーション)が個に応じて対応される学校にしたい。
65	回答なし(大人)	安全で清潔なまち。そのためにできることは、学ぶこと。	学ぶことそしてそれを実行にうつすこと。 10年後、安心して安全な学校にしたい。
66	回答なし(大人)	歩道を歩いている、自転車があふかかっているまち。歩きたばこをしている人がいないまち。ゴミがないまち。そのために、自転車に乗る時は車道を走る。	おいしい給食を考えて、未来の身体作りをしっかりとすること。 10年後、学校を教員によって差が出ない学校にしたい。
67	回答なし(大人)	同じまちに住む人たちが、お互いに声を掛け合い、顔見知りになるようなまち。そのために、自分から率先して声を出して挨拶をして、自分を知ってもらい、顔見知りを増やしていく。	自ら挨拶を進んで行き、話しかけていきたい。 10年後、学校を先生・職員・生徒みんながフランクに話ができるような学校にしたい。
68	回答なし(大人)	ゴミのないまち。そのために、ゴミを出さない。	身体も心も学校も整えること。
69	回答なし(大人)	災害に強いまち。安心して暮らせるまち。人にやさしいまち。そのために、様々なことに目を向け現状を知ることから。	今、目の前の子どもたちを大事に育てる。 10年後、子どもがのびのびと楽しくと言って学べる学校。昔から変わらない大事なものは残す。また、それにとらわれず自由に挑戦できる学校にしたい。
70	回答なし(大人)	安全で安心して暮らしていけるまち。人とのふれあいを大切にして、行政と住民が一体となって良いまちづくりを。そのために、ルールを遵守し、人に迷惑をかけない。	悩み事があれば一緒に相談する(アドバイスを)。 10年後、国際人として活躍できるようにグローバルな視点から生徒を育成、指導できるような学校にしたい。
71	回答なし(大人)	交通事故の起きない道路計画を充実してもらいたい。そのために、都、区の動きを見守るだけ。	(回答なし)

No.	質問2 あなたの年齢層を教えてください。	質問7 10年後、どのようなまちにしたいですか。そのために、あなたができることは何ですか。	質問8 子どもたちのために、自分ならこんなことができる、というご意見をお聞かせください。
72	回答なし(大人)	近所の親とか子供が挨拶ができる町。そのために、自分たちから声をかける。	教育委員の方ががんばってもらえればいいと思います。私たちも協力したいと思います。10年後、どんな学校にしたいか、教育委員の方針をいくつか挙げていただき、○×を答えたかたちが良いと思います。(順番でも結構です)
73	回答なし(大人)	とても住みやすいところなので、今の良いところを残してほしい。コロナで大変な世の中でこれからもどうなっていくのかわかりませんが、出来る限り協力して住みやすいまちが続いていくことを願っています。そのために、登下校時の際、明るく声かけをするようにしています。ちゃんと返事が返ってくる生徒も多いので、これからも生徒が気持ちよく学校に来られるように、できる限りがんばっていきたい。	(回答なし)
74	回答なし(大人)	捨て煙草のないまち。木の葉、枯れ葉以外のゴミがないまち。そのために、自分や家族が煙草を吸わない、小さなゴミを捨てない。	クラスごとで前に毎月「誕生会」を開いて子どもが目標を発表していく。毎年その目標が変わってもそれはそれで認める。10年後、学校を一人ひとりの子どもが具体的(抽象的でも)な目標を持つこと、一人ひとりが記録して毎日の行動と少しでも運動させる学校にしたい。
75	回答なし(大人)	自然が多く、安全で、みんなで支えあっているまち。そのために、社会の問題を自分事として捉えることができるように、学校の中での問題を自分たちで考え、解決していく学級を目指す。	学級の問題を自分たちで解決していく学級経営をする。社会の問題に目を向けたり広い視野を持たせる指導をすること。10年後、学校をまちのコミュニティの核となる場所にしたい。
76	回答なし(大人)	学校・地域・家庭が支え合い、子どもを見守り育てるまち。そのために、学校と家庭・地域との橋渡し役となるよう、日頃から保護者の皆様や地域の方々と交流を深めていく。	規律の徹底とそこに生まれる疑問や要望についての意見交流。子どもがやりたいと思える企画の提案と、その企画実現までの方針決め。その後は子どもの考えを具体的な企画の実現に向けたファシリテートとしてサポートをする。一度成功した企画を元にした一から子どもが作る企画に向けたサポートします。10年後、学校を子どもが自ら学校をより良く変えられる学校にしたい。算数専科教室に冷暖房完備。
77	回答なし(大人)	安心できる、心が落ち着ける、整備されたまち。環境に配慮したまち(景観・エコ活動など)。そのために、自分ができること、家庭ができることについての取組を実践させていく(自然環境に関心を持たせる。自分事として考えていけるよう投げかける)	互いを認め合える人間関係を育む。学ぶこと、学べることに感謝できるように。10年後、学校を安心して落ち着いて学び合える。そのための学習環境が整っている(教室内、廊下、トイレなど日常生活で不便さを感じず、なおかつ、安らげる環境を整える)学びたい欲求が満たされる環境にしたい。
78	回答なし(大人)(団体)	<ul style="list-style-type: none"> •このままでよい。地域や友達との交流 •環境汚染のないまち。食品ロスをなくす。ゴミを減らし、再利用できるものは再利用する。 •今でも十分住みやすく、気に入ってます。10年後も、このまちに住めたら幸せです。 •ゴミを減らして、綺麗なまちにしたい。物を大事に使って、ゴミを最小限に減らす努力をする。 •安全、安心に過ごせるまち。子育てがしやすいまち。災害に強いまち •地域の結び付きを保つような行事等に積極的に参加する。 •子どもも親も、若い人も大人も、男性も女性もそのカテゴリーでない人も、健康な人もそうでない人も、自分も、それぞれに居場所があって安心して安全に生活ができるまち •多様性について考えること、尊重すること •環境問題と利便性のバランスに関心を持って行動すること •災害に備えること •新しくなり過ぎないまち。自然との共生、不便なことも受け入れることが必要だと思います。便利を求めすぎない。 •電柱のないまち 	<ul style="list-style-type: none"> •自分の子どもには、安心できる屋根とベッドと食事のある家を用意すること。地域の子どもには安心できるまちとネットワークを用意すること •いつでも話を聞くことのできる状況をつくる。 •知らないお子さんの目の前でも、大人として恥ずかしい行動はしたくないな…と思います。あと、子どもの学校に少しでも関わっていただけたらと思います。 •日頃から物を大事に使うこと。ゴミの分別等を子どもと一緒に行うこと •子どもたちが安全に過ごせるよう見守ること。あいさつや声かけ •健康や安全について関心を持って、なるべく負の遺産を残さない努力 •自分も自分の周りの人も大切にすることについて柔軟に考えを更新するところがけ •考える機会、時間を与えることが出来るようになる。様々な疑問や意見があることを認められる人間になる。

No.	質問2 あなたの年齢層を教えてください。	質問7 10年後、どのようなまちにしたいですか。そのために、あなたができることは何ですか。	質問8 子どもたちのために、自分ならこんなことができる、というご意見をお聞かせください。
79	回答なし(大人)	故郷ではないので、あまりこうなってほしいという概念はないです。また、自分が育った時と子供を取り巻く環境がかなり変わっていると感じています。今年度PTAの中枢に関わって感じたことは、親が無責任になってきているのか？という点です。教育は学校や託児・保育施設に、自分は仕事(生活費を稼ぐ)に割り切っていないでしょうか？子供の受験のために尽力しているのはわかりますが、受験が原因の学級崩壊やいじめなど自身が加害者になっていても知らない、仕方がない、そんな自己中心的な価値観への変化に疑問を感じます。知人ではなく他人だから無関心になれるのでしょうか？「あそこのお宅は～」いわゆる地域の監視の目が、かつては親の無責任を阻んでいたのでしょうか？1人1人の人間性が問われる環境になってきているのかもしれませんが、願わくば、親が自分の子どもの責任を持ち、互いにお互いを思いやる社会になってほしいと思います。	発達障害の親としては、障害者の学校があるように、発達障害の子のための学校がほしい！そう声を上げてあげたいと思います。現在の教育では対応できていない発達障害児を見るたびにそう感じます。それ以外の事に関しては、出来ることは思いつきません。今回PTA会長として地域の集まりに参加して感じたことは、杉並で生まれ育った人はやはり地元への思い入れも大きく年齢に関係なく若輩者の言葉に耳を貸しよくしようとしておられました。私の地元は田舎ですので、友人たちは子どもの頃に親たちがやっていた地元のお祭りや催しを主催する側に回っています。「生まれ育った」ことは大きな意味を持つと実感しました。自校のPTAを見てみますと、講演会を主催しても出席者はさくらばかり、何かをよくしようとしても実績目当ての役員・委員の集まりでは、やる気がある人がいても、実績目当ての最低限を望む人が阻止をします。一部PTAは過去の無意味な踏襲をする組織になっていると感じます。よくしようとする人と無関心な人、そんな温度差を感じました。そんな無関心な親を見て育った子供が果たして大人になって誰かのために何か行動するようになるのでしょうか？ICTは私たちの生活環境をより便利にしてくれました。しかしながら、より豊かにしてくれたのでしょうか？よりよい将来のため、よりよい大学へ進学するため、受験の低年齢化や習い事の増加は果たして子供の環境を良くしているのでしょうか？変わりゆく環境や価値観に親もついて行くのに一生懸命です。また、ICTで手軽に情報が入手できるようになったために親子共に価値観にもかなりの多様性が見られるようになりました。そんな時代であるからこそ、子供たちのために一度立ち止まり、価値観やモラルなど、人として生きる上で何が大切なのか、何を忘れてはいけないのかを学校が子どもに諭していくのではなく、保護者も一緒に考えていくべきだと感じます。「どんな大人になってほしいですか？」阪神淡路大震災の時に世界から絶賛された日本人のマナーやモラル、また今回のコロナ禍でも日本の国民性は世界に称賛された点があります。残していつてほしいと思います。子供のためのサービスの拡充はありがたいですが、保護者自身が今自分がどんな親なのかを見つめなおしてほしいです。その上で、「どんな親になりたいですか？」その回答から子供に何をしてあげられるのか、何が必要なのかを考えていきたいです。
80	回答なし(大人)	杉並区は自治体初のベーシックインカムを取り入れている、、、だとしたら画期的で理想ですが、国がベーシックインカムを取り入れたら、少子高齢化の問題や失業問題などの状況が変わって来ると思います。私ができることは世の中のことを幅広く勉強し、まず身近で出来ることから始めます。	まず今、目の前にいる自分の子どもに対してできる限りのこと、向き合いながら子育てをしていきたい。今の子育てが将来の世の中に繋がってゆくと思うからです。
81	回答なし(大人)	平和で、周りの方とよい関係を築き交流ができるまちにしたいです。現在住んでいる地域がそのようなところなので、これを継承したいです。現在の年上の方々がして下さっていること(下の世代を気にかけて親切にして下さる)を手本にし、自分も実践できたらと思います。	まずは、自分が健全に平和に生活することだと思います。その上で、子どもに倫理観や人との関わり方を教えていければと思います。
82	回答なし(大人)	今、地域の方々が自分の子供達に目を向けてくださっているように、10年後も変わらず地域で子供達を見守っていくような、人との関わりが暖かい街であり続けて欲しい。そのためには、自分も積極的に地域とかかわり、その活動を途切れさせないこと。その姿を自分の子供にも見せ、子供にも引き継いで行ってもらえるよう振る舞うこと。どんなに時代が便利になっても、スーパーやコンビニだけでなく、個人と関わってくれるような「地域色の高いお店」を守って行きたい。	どの子供に対しても、対等に、良いこと悪いことを自分の言葉で教えること。自分の子のように、地域の子へも接すること。何かあれば気軽に話しかけられるような大人でありたい。
83	回答なし(大人)	子供からお年寄りまで安心して暮らせる町。日ごろからこの町の人や物に目を配り、無関心にならないこと。コミュニケーションを大切にすること。	声掛け、心配り等で子どもたちに安心感を与えること。
84	回答なし(大人)	子供が成長しても、戻ってきたと思える街。様々な人と関わって、ネットワークを持つておくこと。	学校が楽しい、毎日行きたいと思えるように支えること。
85	回答なし(大人)	例えば、歩道が広くなり、バリアフリーになるといいです。高齢者に優しい街は子育て世代にも優しい街だと思います。働いて税金を納める。	元気のない人がいたら話を聞いてあげたいです。学校や社会でうまく過ごすことができない人のつらい気持ちに寄り添ってあげたいです。大人が自分に優しく、穏やかに過ごしていけるとそばにいる子どもたちは安心すると思います。大人が楽しくいきいきと過ごす。
86	回答なし(大人)	町がキレイで、穏やかな大人が多い町を目指して、自分もそう努めたい。	ルールを守り、他者への優しさや声がけなど、自らがやることで子供達に示す。
87	回答なし(大人)	安心、安全な街。	街の美化
88	回答なし(大人)	10年後老人も大人も子供も楽しく過ごすことができる街。夜活動する動物に強すぎない光。道の端にゴミが落ちてない。	一緒に遊んだりする。
89	回答なし(大人)	ゴミ拾い	(回答なし)
90	回答なし(大人)	杉並区に新しい地下鉄ができてほしい。	税金を、たくさん納める。

No.	質問2 あなたの年齢層を教えてください。	質問7 10年後、どのようなまちにしたいですか。そのために、あなたができることは何ですか。	質問8 子どもたちのために、自分ならこんなことができる、というご意見をお聞かせください。
91	回答なし(大人)	明治の初めは学校と役場が同じ建物に入っていたりした。学校は地域の拠点として、地域の取組をコーディネートする人材が常駐したり、住民向けのサービスの一部ができればよい。単身者や子どもがいない世帯も気軽に学校に来て、様々な経験・活動ができるようにする。多様なバックボーンをもつ人々が安全に暮らして交流し自己実現できるまち。学校に来る方々とオープンマインドで接する。	仕事を一生懸命する。
92	30代～40代	子供たちが安全に自由に遊び、学べるまち	選挙で、子供に対する教育や公共の場の安全と充実に予算をさいてくれる、確実にはたらきかけてくれる人を選ぶ
93	50代～60代	(回答なし)	(回答なし)
94	50代～60代	子供達がそれぞれの持っている能力を發揮し、生かせる町。その為には個々の子供の特性を觀察し、伸ばし見守る環境が必要と感じます。一学級の生徒数を20人程度にすること。教員の雑務を極力減らし、子供と向き合える余裕と時間を持つこと。私が実践していることは、身近にいる子供達に、その子の興味に添った本を提供し、更に視野を広げてもらうようにしていることです。	現在視覚障害者の方達に音訳ボランティアをしています。色んな障害を持っている子供達(発達障害児等も含めて)の可能性を引き出す取り組みが、全ての子供達にとっての良い教育環境作りと連動しているのではないかと考えています。障害を持っている子供達は、その水先案内人のような存在ではないでしょうか？杉並区を目指す教育が、目先の教育ではなく、地に足の着いた深いものであることを願います。
95	50代～60代	まちがあれば、良いんじゃないですか？	マスクをしていない大人に、「マスクしろ！」って言う、子どもをつくれれば。非常に不愉快でした。
96	50代～60代	高齢者だけでなく、子育て世代、子供が生活しやすいバランスの良い街になって欲しい。	クリニックをやっています。子供の学習障害などの診察や指導をしています。問題を感じているご両親や子供の手助けをしたいと思います。
97	50代～60代	貧富の差、障害の有無 色んな人が心から安心して住める杉並区へ そのためには、本当に区民のためを思って活動して下さる方に投票します 児童館を無くしたり不要な道を作ろうとしたり町を分断するような事をやめてくれる方に投票します	学校では、合理的配慮は言葉だけになっている。校長裁量でできることを把握して子どもたちのための学校、子どもたちが将来安心して家族が作れるようになるための地盤を作る、繋がりを作る学校を作りたい。
98	50代～60代	子どもや大人すべての住人が健やかに過ごせる場を保証してください。 特に、子どもたちは幼児から中高生までが自由に利用できる児童館は貴重な存在です。学校以外で異年齢が集える空間として大切にしてほしいし、大切にしたいと思います。	以前、児童館で近所の方が子どもに「読み聞かせ」などをしてくれていました。そんな活動が児童館できるとよいと思います。 児童館という空間を、地域の中でこどもを育てる場として大切にしてほしいと思います。
99	30代～40代	安心して夜でも外出できる事。そしてきれいで、活気ある商店街であること。そのために自宅周辺の清掃や、できる限り地元での買い物などでの還元	いじめについて、苦境について、生きることについて、一度でいいから話す機会があればと平日頃思います。
100	30代～40代	児童館や公園、図書館、美術館、博物館など、子どもたちが年齢、学校に縛られず多様な人間関係を持ち、遊んだり学んだりすることができる施設が多いまちにしたいです。そのために区立施設を積極的に利用しながら意見を区政に届けたいです。	街、児童館や公園で遊んでいる子どもたちが危険な目にあったりしないか見守ること。
101	30代～40代	子どもたちの居場所がある街にしたい。学校は放課後すぐに追い出される(私が子どもの頃は夕方まで校庭で遊んでいてもOKだった)、公園は少ない木が繁って暗くて危ない、児童館は学童の子どもたちで溢れかえっている。学童を卒業してしまった小学校中学年以降、友だち同士遊ぶ場所がない。両親が外勤の子が多く、大人がいない家には遊びに行ってはだめというルールが多い。	仕事を辞めるくらいしか思い付かない。 ハードが足りていない。
102	30代～40代	私は杉並に越してきて一年半になります。地元でもなんでもなく、知り合いもないこの杉並ですが、地域にねぎした活動を杉並でもやっていたらいいなと思います。2人の子供も生まれたばかりですが、地域参加型の居心地の良い田舎に彼らにとってなるようにしてあげたい。町内会や地域の祭りなどに積極的に参加したい。田んぼがあるわけではないが、都会でも田舎のような雰囲気、ひととひとが話をして成り立つようなことを手伝いたい。	現在は主婦で、ゆくゆくは平日仕事もする予定ですが、空いている時間をボランティアで子どもたちの遊びや、居場所の手伝いをするのは全然やってみたいと思う。ただ住んでいるマンションが自宅での集いを禁止しているので、家は貸し出しできず、自らは主催できない。具体的には、レジャエミリアアップローチのような、アートで自分を表現するような遊びを私立の高額なサービスではなく、区で提供できたら子供に良いと思う。そのための人件費はボランティアで空いている時間を募集したら良いと思う。
103	50代～60代	外国人の世帯人口のない街。 外国人の害について、訴えていく。	日本の伝統文化を伝える。
104	50代～60代	児童館、ゆうゆう館、図書館、公園が10年後も減らずに区の直接運営で、子どもセンターや学童を再統合組織替えすることなく、ひとり親の子が自分が受けたのと同内容のサービスを保健センターと学校で18歳まで受けられる区。法人税や賃料を当てにして区の資産をゼネコンや工務店に使わず直接社会保障に使うよう、区民が超党派区議やオブズマンと監視できる制度を強化できるよう杉並区民親族4世代全員のコミュニティーで働きかけることができます。	区サービスのボランティアがあったら参加したい。図書館、公園、学童、ゆうゆう館、子どもセンターどれも希望。あと科学館と連合音楽会が現在の職業・所得・納税先の社会人としての行き先を決めたので、科学館機能、連合音楽会機能を何らかの形で復活させたいです(科学館にあったフナの解剖後の慰霊のお墓がきっかけでハーバード大学哲学科医療倫理学講座に進相談員になりました)。

No.	質問2 あなたの年齢層を教えてください。	質問7 10年後、どのようなまちにしたいですか。そのために、あなたができることは何ですか。	質問8 子どもたちのために、自分ならこんなことができる、というご意見をお聞かせください。
105	30代～40代	住民が住みやすい街。 ・誰もが休憩できるベンチを設置(吉祥寺商店街のように)。高齢化に伴い必須。 ・集会室、公民館を増やし、大人数でも集まれる場所を増やす。人の交流は文化を育て、防災の観点からも共助となり、その場所は避難先にもなる。 ・児童館は増やす(今、区が進める全廃政策は愚策。)子ども達が安心安全に過ごす場所は確保すべき。 ・住民が住みやすいのは、歩いて回りやすいこと。車のための道路整備より、歩行者と自転車優先の街にする。 ・福祉の充実で安心して暮らせる街に。	今は、とにかく子どもが外で遊べる場所が少ない。大人も神経質になっていて、子どもに危害を加えられないか心配です。区は責任を持って、子どもの遊び場、居場所を提供して下さい。これは喫緊の課題です。すぐに対応をお願いします。また、一人っ子も多く子ども同士の交流を増やすことで学びや社会性も身につくのです。杉並区の児童館はその機能を持つ杉並区らしい財産。西荻南児童館のような大人も子どもも使える建物を各地域に作ったらどうでしょうか。お願いします。
106	30代～40代	子どもから高齢者まで安全安心して暮らせる街にしたい。そのためには積極的に地域活動に参加して地域の活性化に努めたい。	子どもたちのために通学の見守り、日常的な挨拶(マンション内のみ)をしています。防犯面での抑止力と子どもたちに親以外でも地域で人とのつながりがあると感じてほしいと思っています。
107	50代～60代	(回答なし)	●忙しい親に代わって、地域住民によるPTA活動のサポートやPTA活動の改善。→PTA活動は必ずしも保護者のみで構成する必要性が感じられない。共働き世帯が多くなっているので、構成メンバーを見直してはどうか。予算次第だが外部業者を利用しても良いと思う。●授業についていけない子供の学習サポート。→次の内容と重複するが、成績が芳しくない生徒には個別授業の参加を促す(ただし必須参加ではない)。●希望児童が出席する個別授業及び夏期講習の企画、学習サポート。→講習内容は必ずしも学校での学習内容に限らない。なので、内容次第では、全学年で参加募集をかける。●職業体験談を伝える。特に英語学習の重要性を伝える。●(住民からのサポートではないが)やむを得ない事情で不登校になった子供が、zoom等で家から授業を聞けるようにしたうえで、出席日数に加味してはどうか。
108	50代～60代	・ごみが散らかってない綺麗な街。 ・子供から大人まで伸び伸び遊びや運動、散歩、休憩が出来る広場がたくさんある街。余計な建物、駐車場、いらぬ。 ・学校が親子や地域にとって本当に学びのある居心地の良い場所になる街。具体的には下記。 *学校PTAは廃止。悪口陰口が多く存在意義がない。 *学校行事はなくて良い。行事がないと哀想は大人の勝手な言い分。コロナで行事なくなって子供たちのんびり出来る。行事の分は先生がじっくり勉強を見てあげられる時間に充てて欲しい。 *学校の先生には最低限の礼儀を教えて欲しい。 10年前息子の通ってた杉並区某小学校の校長は言葉使いは乱暴で保護者に平気でお前らと言って怒鳴りつけたり、コーヒー入れさせたり、謝罪の電話も「まー、なんだ、色々ごめんなさい、じゃーそういうことで」と一方的に言ってガチャッと切る、など失礼な人だったので。中学校副校長もいきなり怒鳴る人だった。最低限、間違ったら素直に申し訳ありませんでしたと謝罪出来る人に教師になって欲しい。	(回答なし)
109	50代～60代	歩行喫煙や車両通行の制限を強化し、車の騒音や身体に悪い煙などを一掃し綺麗な空気の中を子供達が堂々と道の真ん中を歩けるぐらい伸びのびと育つ環境が整った街。主役を人にし、自動車などは交通手段であり脇役とすることで、子供達だけでなく、人生100年を迎えた今、健康寿命を伸ばすことに注力した街づくりが進んでいると体感出来る街。駅中心の道路規制をやめて、環八を周辺に交通トラフィックを集中させ、ウォーキングフリー！な街です。	海外で見てきたことや得たことの共有や、上記街づくりの必要性を共有し、彼らの意見をとりいれていく活動。
110	70代以上	子どもにとっても大人にとっても安心・安全なまち、そのためには緑多い自然豊かな環境を維持し、防災・減災への取り組みを行う。 防災・減災活動への参画、自然保護活動への協力。	子どもたちとの野鳥観察、防災街歩きなど

No.	質問2 あなたの年齢層を教えてください。	質問7 10年後、どのようなまちにしたいですか。そのために、あなたができることは何ですか。	質問8 子どもたちのために、自分ならこんなことができる、というご意見をお聞かせください。
111	30代～40代	子どもたちが安心して学校や地域で過ごせるようなまちにしたいです。自分の意見をこういった場にて提出したり、地域活動に参加していきたいと思っています。	意見を送ることしかできませんが…。杉並区の内申点の取れなさが気になっています。地域の公立学校へ子供を行かせたいと思っていますが、他の区に比べてかなり内申点が取れない、また学校によっては点数が開示されないと聞き、地域の公立学校へ行かせることを悩んでいます。子どもは出来るだけ地域の中で育ててあげたいと思っています。こういった点が今後改善されることを望みます。
112	30代～40代	地域とともに明るい元気なまちに。	子どもたちのために、散歩がてらの地域パトロールは可能です。
113	30代～40代	子育て応援券の活用範囲拡大(オムツ、ミルク等の購入) DXを活用したキャッシュレス推進 スポーツの普及促進(サークル、部などの斡旋)	いまの制度では自身にできることはない
114	50代～60代	多様性を認める住みやすく、あたたかいまち。 自分になるべく余裕を持ち、人に対して大らかで居る。	あたたかく見守る。 生活に困っている子に出会ったら、さりげなく気にかけて話しやすい人になり、支援したい。
115	50代～60代	他人の子供でも、いけないことは注意できる、いいことは誉められる	放課後のみまもり、公園などで
116	50代～60代	障害、性別、国籍、年齢などあらゆる事での違いによって差別されることのない町。 誰もが金銭的、精神的に不安になることなく、生き生きと暮らせる町にしたい。	不審な大人に出会った時の駆け込み処。片親だけの子供の預かり、声かけ、学習指導。子供食堂などの調理。近くに頼れる人がいない親の手助け。障害をもつ子供の託児。
117	30代～40代	どの世代にも活躍できる場があるまち	学校と家庭の間に立って、両者の願いを聞きどうすればお互いの希望をかなえられるか一緒に取り組むことができます。
118	50代～60代	近所の人ともっと交流や仕事、生活における関わりが増えた、顔の見える関係になること。年齢や国籍などを越えたつながりが広がること。そのための活動や組織が盛んになること。それを行政が資金や事業でサポートされること。自分も活動する一員として貢献したい。	より多様性を認める教育が大事。現在の学校教育は授業の進度にしても、価値観にしても、現在の画一的な授業のあり方は大きく変わるべき。PCの一人一台配布も、他の自治体のように家庭で使ったり、普段の授業で進度別の学習に活用すべし。そのため、教員の労働環境改善にさらに区として取り組んでほしい。自分は、在住外国人を教育現場で交流することで、来る多文化社会のための意識づくりに貢献したい。
119	30代～40代	国際色豊かな街づくり	中学、高校の英語の教員免許を持っています。また、小学校英語指導者資格取得を目指しています。私のように英語専科として小学生に教えることが出来る人材を各学校に配置して下さい。専門外の先生方の授業は、子どもたちにとってどうかと思います。